

令和5年度 延岡市立岡富小学校 学校評価

(4段階評価) 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

本年度の重点目標 (1 確かな学力の定着 2 豊かな心の育成 3 健康・安全教育、食育の充実 4 家庭や地域に信頼される学校づくりの推進)

評価項目	評価指標	学校の自己評価結果のコメント	自己評価	学校関係者	関係者評価コメント
学力の向上	① 学習環境や教材を効果的に活用し、児童の学習意欲の向上に努める。 【指導内容の精選、ICT】	各教科において ICT を活用し、児童が意欲的に学習することができるよう、授業改善に取り組むことができた。今後さらに ICT を活用できるように、研究を継続する必要がある。また、宿題で活用する等しながら、タブレット活用について保護者に理解してもらう必要もある。	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 他校との比較ができるものはあるのか。→4年生の県学力学習状況調査や6年生の全国学力学習状況調査など地域や県や全国などと比較することはできるが、数値だけにとられないようにしていく。 学校と家庭が連携をしていただければ大丈夫である。 階段に文系(ローマ字)の学習が掲示してあるなど、学習内容に普段に親しみやすくなる工夫がなされており目にした者にとって、勉強になる。
	② 個に応じた指導や協働的な学習の充実に努め、わかる・できる喜びを実感できる授業に努める。 【めあて・まとめの設定、習熟、高学年一部教科担任制】	1 単位時間でのめあてとまとめの設定について、全職員で共通理解・共通実践を行った。また、高学年では、一部教科担任制を取り入れ、指導教科の専門性や授業力の向上を図り、児童の学力向上に努めることができた。			
	③ 授業をとおして基本的な学習態度と学習習慣の育成に努める。 【チャイム黙想・立腰指導・準備時間】	基本的な学習態度と学習習慣の育成を目指し、重点指導事項を核が急に配付した。学期始めには、特に意識して実践できるようにした。			
	④ 家庭との連携を行い、発達段階に応じた家庭学習の充実に努める。 【家庭学習の在り方】	学習内容の定着を図るために、「岡富っ子家庭学習のきまり」を配付し、家庭学習に取り組ませた。また、各学年で週1回「読書の日」を設定し、読書をする習慣を身に付けることができるようにしている。今後、ICTを活用した家庭学習の在り方も考えていく必要がある。			
豊かな心の育成	① 生徒指導体制の充実に努め、「岡小みんなのきまり」に基づいた生活態度の育成に努める。 【8:00 チャイム黙想、あいさつ、5つの無言の場】	各家庭に「岡小みんなのきまり」を配付、児童と約束を確認し、全職員で共通理解・共通実践を行った。全学年でチャイム黙想の徹底や挨拶の指導を繰り返し行い、特に挨拶は良くなってきている。また、重大な非行事例等が無いのは、学校と地域・家庭が連携して子どもたちを見守っている成果である。	3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶は登下校中元気よくしてくれる。(十分できている) 子ども一人一人の特性などをしっかりと把握し、共有できていて素晴らしい。 いじめは外部にはわかりにくい部分もあるので、子どもたちの様子をしっかりと観察してほしい。 個々の性格(特性)を考慮した対応が必要であると思う。 不登校の事由が以前と変わってきている。先生だけでは解決が難しいので、関係機関と連携し進めてほしい。
	② 全教育活動をとおして、相手の立場を尊重する心の育成や人権意識の高揚に努める。 【丁寧な言葉遣い、人権教育の充実】	「～です。」「～ます。」「～さん」など、時と場、相手に応じた言葉遣いを子どもたちが使えるように、全職員で適切な指導を行った。職員研修にて人権問題を取り扱い、職員の人権意識を高めるとともに、学活における人権の授業及び道徳の授業、さらに教育活動全体を通して、児童の正しい人権への実践力・意識を高めている。			
	③ 特別な支援の必要な児童に対する支援体制の充実に努める。 【不登校・特別支援ケース会議等の充実】	困り感のある児童について適切な時期に個別の協議を行い、関係機関と積極的に連携を図ることによって、支援体制を確立することができ、一人一人の状況や困り感に応じた支援ができた。次年度に向けて、児童への個別最適な教育に組織的に対応できるようにするために、校務分掌等の細分化や統合等を進める協議を行っているところである。			

健康・安全教育	① 体力向上プランをもとにした体育指導をはじめとして、体育に関する行事等を通して、体力の向上に努める。 【パワーアップ運動・チャレンジ5】	体育の時間に「岡小体力アップトレーニング」に取り組んだ。また、水泳指導、運動会、なわとびと、時期に応じた運動について、感染症対策を行いながら、できることを考慮・精選し体力づくりを進めた。また、外遊びを奨励することで、体を動かす楽しさや心の健康づくりを推進した。	3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びを以前より積極的にしているのが何よりである。多様な遊びを体験できるように仕掛けていきたい。 ・放課後や休日なども公園で遊んでいる姿をよく見かける。公園によっては多くの高齢者が使用しているようだが、休日は子どもに譲ってもらえるとよいと感じている。 ・子ども達が元気いっぱい走り遊べる環境維持をお願いしたい。 ・岡富西地区で協力できるところを挙げていきたい。 ・他県で給食中に悲しい事故があったが、食事の基礎・基本を今後も学校でも指導してほしい。 ・運営協議会委員の方が、何度か学校前の道路について声を挙げ、工事が行われた。今後も声を挙げていきたい。
	② 健康教育を推進し、健康の保持増進に努める。 【早寝・早起き・朝ごはん運動、熱中症防止】	学期1回、家庭と連携し「生活リズムチェック表」を活用しながら、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣づくりに取り組んだ。また、結果を知らせ啓発も行った。熱中症対策として、水筒持参の推進や放送での注意喚起を行い、安全対策に努めた。			
	③ 校内の安全管理に努めるとともに、安全指導の徹底を図り、危険予知能力と危険回避能力の育成に努める。 【防災教育、安全点検】	2ヶ月ごとに学校施設の安全点検を実施し、危険箇所等の修繕を行っている。避難訓練や防災教育を通して、自然災害等への危機回避能力の育成に努めた。			
	④ 感染症対策に努める。 【感染症対策】	最新の国や県の方針に則し、感染症対策を行ってきた。日々の健康観察をもとに、児童の体調把握・管理に努めた。子ども達は、手洗い・うがいの習慣が身に付いてきた。換気についても呼びかけを行ってきた。			
学校力の向上	① 校内研修やOJTを推進し、授業力の更なる向上に努めるとともに、教師一人一人の人間力の向上に努める。 【OJT・相互参観、メンター方式の活用】	主題研修での理論研修や研究授業を通して、ICTを活用した授業づくりについて理解を深めることができた。また、初期研修1年目・2年目の職員に、メンターとして関わり人材育成に取り組んでいくことで、学校力の向上につなげることができた。	3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生や先輩達などに夢を語ってもらい、子ども達に夢をもたせるキャリア教育を充実してほしい。 ・外部の力も多く取り入れて、子どものためになる話を取り入れてほしい。 ・この地域には大学があるので学生間の触れ合いはたくさあるとよい。 ・運動会などばんぱ踊りをぜひ子どもたちと踊ってみたい。
	② 校内の様子や積極的な発信や児童の作品応募を通して、保護者・地域からの理解に努める。 【HP・学校だより・報道機関の活用、参観日等の充実】	学校便りや学級通信、新聞等のメディアを通して、児童の頑張っている姿や岡富小学校のよさを伝えることができた。また、学校ホームページの更新を積極的にを行い、地域や保護者からの理解を得られるように努めた。参観日については、コロナ前と同様の回数実施することができたが、12月はインフルエンザ流行により中止となった。			
	③ 地域人材や素材を積極的に活用し、社会に開かれた学校づくりに努める。 【学校運営協議会の活用、九州福祉保健大学との連携】	九州保健福祉大学と連携を図り、むかばき宿泊学習における登山の補助を実施し、児童の安全のサポートを見守ることができた。また、延岡市キャリア教育センターとの連携により延岡在住の方を講師として招き、全学年で「よのなか教室」を実施することができた。今後、学校運営協議会を中心に更に支援を充実させていきたい。			

【 次年度に向けて 】

- 「学力の向上」：わかる・できる喜びを実感できる授業を展開するため、ICTを効果的に活用した授業改善に努め、個に応じた指導や協働的な学習の充実を図る。基本的な学習態度や学習習慣については、家庭との連携を強化し、発達段階に応じた指導に努める。また、地域人材の活用やよのなか教室を通じた児童の将来の夢や職業観の展望を図る。
- 「心の育成・安全教育の推進」：「岡小みんなのきまり」に基づいた望ましい生活態度の育成を図るとともに、全教育活動として、相手の立場を尊重する心の育成や人権意識の高揚に努める。不登校児童については、家庭や関係機関と連携した支援の充実を努める。避難訓練や日常的な安全指導、定期的な安全点検等による防災や安全面の充実を努める。
- 「体力の向上・健康の保持増進」：体育に関する行事等を通して、規律、集団行動の充実や体育的活動の促進を図る。個に応じた体力向上及び望ましい生活習慣の確立を図るための取り組みを推進する。食育を通じた食べる大切さや健康とのつながりの認識を深める指導に努める。
- 「個に応じた支援の充実」：児童理解及び特別支援教育への知見を深め、職員の指導力向上を図る。また、関係機関・団体等との連携並びに特別支援学校との交流を通じた学習を推進する。
- 「学校力の向上」：校内研修やOJTを推進し、授業力の更なる向上に努めるとともに、職員一人一人の人間力の向上に努める。積極的な情報発信や児童の作品募集を通して、保護者・地域からの理解に努める。また、コミュニティ・スクールの中心としての学校運営協議会の活性化を図るとともに、社会に開かれた学校づくりに努める。